

琉球大学学術リポジトリ

不可思議な資源・コーラルサンド(風化造礁珊瑚)ー尽
きぬその利用可能性ー

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小田, 光男 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017440

不可思議な資源・コ-ラルサンド（風化造礁珊瑚）
-尽きぬその利用可能性-

コ-ラルバイオテック株式会社

代表取締役 小田 光男

会社概要

○設立 昭和 62 年 8 月 ○ 資本金 4, 000 万円

○本社 沖縄県那覇市曙 3-21-1

支社 東京都千代田区神田美倉町 10

工場 沖縄県今帰仁村仲宗根 983-1

○取締役会長 仲田 晋

○代表取締役 小田 光男

○沿革

沖縄海域で産出される風化造礁珊瑚を、地域固有の有用資源と認識し、その特性研究・利用開発・製品活用を通して、沖縄県の産業振興に貢献する趣意をもって、「沖縄県商工労働部企業立地対策室」の指導を経て設立。

講演要旨

○サンゴは、現在地上に生息する多細胞動物では2番目に古い。
サンゴは、動物でありながら光合成を行う。

○社会の文明化とは即ち、地球の酸性化。
コーラルは、唯一アルカリ特性を有する天然資源。

○コーラルの特性
多孔質
アルカリ性
多元素構成

○用 途

食

水

土

○長寿県沖縄とコーラル

ホメオスターシスとミネラル

○マイナスイオン、代替骨、酒の旨味